

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	令和 元 年 9 月 1 2 日 (木) 午後 7 時 3 0 分～午後 9 時 0 0 分
会 場	谷沢地区農村活性化センター
地域座談会の内容（意見交換等の内容等）	
<p>①チェリーランドリニューアル計画の中、キャンプ場計画についてお聞きしたい。 →チェリーランドリニューアル計画（案）では、国際チェリーパークを整理し、キャンプ場やオートキャンプ場の構想（案）となっている。</p> <p>②いこいの森にキャンプ場があり、全国各地から年間 4000 人ぐらい訪れ、キャンプ場として環境が良いところである。チェリーランドリニューアルに伴う共存について伺いたい。 →いこいの森にはオートキャンプ場がないため、現段階ではチェリーランドに新設するキャンプ場（案）としては、オートキャンプ場を中心とした考えであるが、皆さんからのご意見をいただきたい。</p> <p>③チェリーランドにキャンプ場を作るとしたらオートキャンプ場、いこいの森は、自然や低価格使用料を売りにすみ分けを行って欲しい。 いこいの森キャンプ場をさらに使いやすくするため、現在のトイレ改修（洋式）・合併浄化槽や現在キャンプ場となっている芝生広場側に男女別のトイレの新設し、来場者を増やす工夫をお願いしたい。 →いこいの森のトイレについては、洋式化・合併浄化槽に改修して参ります。 また、トイレの新設は検討して参ります。</p> <p>④私道の整備補助について、二軒の隣接が要件である。一軒が他の道利用により一軒の負担が大きく又、除雪でも苦勞しているため、転出も考えている個所がある。土地名義は公衆道路で皆が通る道路について、その後どのようなようになったかお聞きしたい。 →私道の整備は、徐々に制度改正を行っているが、再度検討します。除雪についても検討していきます。地域が成り立つ視点が大事であるので、来年当初制度改正の取組行って参ります。</p> <p>(担当課回答)</p>	

私道の整備補助については、市民のみなさんからのご意見等を踏まえ見直しを行ってまいりました。ご質問の1軒利用する私道においては、自宅通路との区別が困難であり、補助要件には合致しないものと考えております。補助額の拡大につきましては、来年度の予算化に向けて検討してまいります。

⑤キャッシュレスに向けた高齢者向けのスマートフォン講習会を開催していただけないか。

→スマートフォン等の講習会は検討して参ります。

(担当課回答)

スマートフォン等の携帯端末については、携帯端末ごと、また、携帯電話会社ごとに仕様が異なっている場合があるほか、技術革新等の進歩に単一的な講習会開催は困難と思っております。

携帯各社において、無料の講習会や操作方法のサポートを行っており、そうしたサービスをご利用願います。

⑥地域の活性化のため、市の職員が退職した場合積極的な地域活動の参加をお願いできないか。

→課長会などで話を参ります。

⑦市の助成によりサロン事業を行っているが、助成を増やしていただきたい。

→来年の予算に向かって検討してまいります。

⑧パイロットファームの果樹園に熊が出没し果樹に影響がでていいる。今後も猪や鹿の心配であるが、市の鳥獣対策について

→熊、猪は農林課に相談してください。また、電気柵設置に対する補助制度があるため、相談してください。

⑨最上川ふるさと総合公園のトイレの維持費は市の税金か

→県の公園であるため、県で支払っている。

⑩高松保育所の入所にあたり、家族構成の条件があるか伺いたい。

→保育所は福祉の施設であるため、子供の世話をを行う方が居ると入所できなのが原則であるが、ケースバイケースの場合もあるので相談していただきたい。

⑪災害時、要支援者登録で個人情報保護により情報共有ができない方の対処について

→災害時における個人情報保護となっている方の対応については、色々な機会
の場で話を行い対応したい。

⑫市営球場の設備はどうなるかお伺いしたい。

→観覧席やバックネット・ナイターの整備を、現在の場所で建て替えを行うと
か別な場所への新設整備となるとかなり時間と費用がかかってくる。現在の
施設の改修リニューアルが得策ではないかと思っております。

⑬谷沢区では、1年8か月子供が生まれていないため、解決策について

→出会い・結婚は婚活コーディネーターの活躍に、報償金も出している状況で
すが、なかなかまとまらない状況となっております。今後全国の例などを研
究して参ります。

⑭学校の再編成で審議会が作られたと聞いているが話をいただきたい。

→学校の再編については、生徒数の将来動向を踏まえ、教育委員会で将来の寒
河江の学校の在り方を考えて行く会を設置し、検討を始めたところです。
結論は2年後ぐらいに出していくこととなります。

**⑮昔、働く青春のつどいやサークルで交流があったが、現在は交流会などがいないため、
若い人ほど地区から転出して行くのではないか心配である。**

→今の時代にあった出会いの場等を作る取組を研究して参ります。